路面標示用素材の市場調査レポート：企業・地域・種類・用途別の分析と市場予測

HJResearchでは、「路面標示用素材の世界市場：成長、動向、予測」調査資料の販売を2023年9月28日に開始いたしました。本調査レポートは、路面標示用素材の世界市場について調査・分析した資料で、路面標示用素材の市場概要、動向、セグメント別市場規模、地域別分析、競争状況、企業情報、市場機会分析などで構成されています。

路面標示用素材は、道路や駐車場などの路面に塗布される、白線や黄色線などの各種マーキングを作成するための素材です。主に、アクリル樹脂、アルキド樹脂、エポキシ樹脂、水性塗料、反射防滑塗料、そしてガラスビーズなどが使用されます。この素材の主な目的は、道路交通や駐車場の安全性を向上させ、運転手や歩行者に正確な情報を提供することです。

現在、世界の路面標示用素材市場は着実に成長しており、2022年には8050億円の規模に達しています。これは、交通事故の減少や歩行者の安全性の向上を目的とした交通インフラ整備の増加、および自動車産業の成長による需要増加によるものです。また、最新技術の採用により、道路標示物に反射能力や耐摩耗性を提供し、長期間にわたり維持することができるため、市場の需要が高まっています。

世界的には、3M、Sherwin-Williams、Swarco AG、Nippon Paint、Ennis Flint、Hempel、Geveko Markings、PPG Industries、Asian Paints PPG、SealMaster、Reda National Co.、LANINO、TATU、Zhejiang Brother、Zhejiang Yuanguang、Luteng Tuliao、Rainbow Brandなど、多数の主要メーカーが存在しています。これらの企業は、国際的な展開により、業界において大きな影響力を持っています。特に、3Mは反射材料技術において業界をリードしており、高品質かつ革新的な路面標示用素材を提供しています。

今後の展望としては、自動運転技術やスマートシティの普及などにより、道路上の信号やマーキングへのニーズがますます高まることが期待されます。また、環境問題の重要性が高まる中、環境に配慮した素材の需要が増加することも予測されます。そのため、より高品質で耐久性に優れた、そして環境に優しい素材の開発が求められると考えられます。

路面標示用素材産業のSWOT分析は以下の通りです。

【強み】
安全性向上への貢献：路面標示用素材は、交通事故の防止や歩行者の安全性向上に大きく貢献しています。
長期間維持できる素材性能：最新技術が採用され、反射能力や耐摩耗性が優れており、長期間維持することができる道路標識素材が提供されています。
多様な用途：路面標示用素材は、道路、駐車場、空港などの様々な場面で使用されるため、需要が多様化し、市場を拡大しています。

高品質かつ革新的な素材の提供：多数の大手メーカーが高品質かつ革新的な素材を提供しており、競争力があります。

【弱み】
環境問題への負荷：路面標示用素材の製造過程で排出される有害物質や、素材の使用による廃棄物の処理は、環境負荷を引き起こす可能性があります。
コスト上昇：耐久性や維持性能の向上により、一部の素材は高価になっているため、コスト面が課題となる場合があります。

【機会】
自動運転技術の普及：自動運転技術が普及することで、新しいマーキングが必要となるため、需要が増加する可能性があります。
スマートシティの進展：スマートシティの進展により、道路上の信号やマーキングへのニーズが増加することが期待されます。
開発技術の進歩：新素材の開発により、環境に配慮した素材や、耐久性や反射性能の向上した素材が開発される可能性があります。

【脅威】
地域による基準の差異：国や地域によって基準が異なるため、異なる製品を生産しなければならないことがあります。
競争激化：多数の大手メーカーがあり、競争が激化しているため、価格や品質での差別化が必要となっています。
COVID-19の影響：COVID-
19の世界的流行により、需要減少や供給チェーンの問題などにより市場が影響を受けている可能性があります。

グローバル路面標示用素材市場の主要企業は次のとおりです：
3M
Sherwin-Williams
Swarco AG
Nippon Paint
Ennis Flint
Hempel
Geveko Markings
PPG Industries
Asian Paints PPG
SealMaster
Reda National Co.
LANINO
TATU
Zhejiang Brother
Zhejiang Yuanguang
Luteng Tuliao
Rainbow Brand

製品タイプ別の市場セグメンテーション：
熱可塑性マーキングペイント
水性マーキングペイント

溶剤ベースのマーキングペイント
2成分の道路マーキングペイント

用途による市場セグメンテーション：
道路と通り
駐車場
空港

■レポートの言語：日本語
■レポートのタイトル：路面標示用素材の市場調査レポート：企業別、地域別、種類別、用途別、市場予測（2018-2029）
■出版社：HJResearch
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
路面標示用素材の市場ダイナミクス分析
路面標示用素材の大手企業分析：3M、Sherwin-Williams、Swarco AG、Nippon Paint、Ennis Flint、Hempel、Geveko Markings、PPG Industries、Asian Paints PPG、SealMaster、Reda National Co.、LANINO、TATU、Zhejiang Brother、Zhejiang Yuanguang、Luteng Tuliao、Rainbow Brand（企業概要、製品概要、販売量、売上高、価格等）（2018 2023）
路面標示用素材の種類別世界市場規模（販売量と売上高）（2018 2023）
路面標示用素材の用途別世界市場規模（販売量と売上高）（2018 2023）
路面標示用素材の北アメリカ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
路面標示用素材のヨーロッパ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
路面標示用素材のアジア太平洋地域市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
路面標示用素材のラテンアメリカ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
路面標示用素材の中東・アフリカ市場規模（販売量、売上高、輸出入）（2018 2023）
路面標示用素材の世界市場予測：地域別、種類別、用途別（2024-2029）
マーケティング経路の分析（ダイレクトマーケティング、間接マーケティング）
路面標示用素材の産業チェーン分析（上流主要原料、下流主要消費者）
付録（調査方法、情報源、著者情報等）

■レポートの詳細内容・お申込みはこちら

日本語レポートリンク：https://www.hjresearchjapan.com/road-marking-materials-market-report-p271404.html

■ご購入検討用にレポートサンプルのご提供や試読サービスなども行っております（無料）。

■本件に関するお問合せ先
HJResearch
マーケティング担当 jason@hjresearch.com

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com